

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	66%	・基準上は適切であるが、活動内容によっては広く活用したと感じる時がある。 ・20名を超える時には、狭く感じる時もあるが、ご利用者を複数の部屋に分ける等の工夫を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	55%	44%	・基準配置は満たしているが、個別対応が必要な利用児がご利用するときには、職員間で連携を強化して支援している。 ・定員を超えたときには職員間の効率的な連携で支援している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	55%	44%	・部屋の分け方で、日々の環境が変化する等戸惑いがあるが、一人ひとりに対応できるよう、構造化に取り組んでいる。 ・設備は死角があると感じる時があるので、ミラー等で改善するなど、定期的にヒヤリハット等を活用し安全対策のための改善に取り組んでいる。 ・情報の収集が適切に職員に伝わるよう情報共有、連携強化に取り組んでいる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	77%	22%	・衛生面、快適性を充足できるよう、日々掃除に取り組んでいる。 ・コロナ禍であるため、四季を通して換気、消毒等に感染防止留意して取り組んでいる。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	55%	44%	・月に1度の事業会議で毎回確認している。 ・個人では難しいこともあるので、チームでPDCAサイクルを見直すことができるように会議を実施している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	44%	44%	・ガイドラインの周知について職員課員で情報共有を図っている。 ・保護者との連携を密にし、日常より保護者の意見、意向を支援に反映できるよう取り組んでいる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	55%	44%	・法人のホームページで公開している。 ・ガイドラインの周知について職員間で情報共有を行っている。 ・月に一度、事業所の活動内容やお知らせを保護者へ文書を送付している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	44%	33%	・第三者による外部評価は受けていないが、日常からの保護者の意見を聞いて業務改善に取り組んでいる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	66%	33%	・業務時間内で研修が組み込まれた時には必ず参加するようになっている。 ・コロナ禍により、研修の機会が減っているが、WEBでの研修は参加している。 ・参加できないときもあるが、自己研鑽として個人で研修に参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	66%	22%	・当センターのアセスメントシートを使用して個別支援計画を作成している。 ・児発管を中心に保護者の意向も含め、様々な方面よりアセスメントを行い、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	44%	44%	・児発管を中心に法人全体で決められたアセスメントシートを使用している。 ・決められたアセスメントシートの他に、日々の記録や、会議での利用者状況、等センター内で使用している児童に関する資料も活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	55%	33%	・ガイドラインを基準とした項目を職員間で共有するとともに、月に1度の会議でご利用児の状況、保護者や家庭の状況を加味した内容を検討している。 ・モニタリングを活用し、定期的な見直しを行っている。

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	44%	44%	・活動の中で個別支援を行っている。 ・定期的に支援の見直しを行い、児発管を中心に職員間で改善点や変更を会議で検討している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	66%	33%	・児発管を中心に活動表作成時に話し合われている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88%	11%	・児発管を中心に活動表作成時に職員間で話し合われている。 ・季節に応じたイベントなど職員間で楽しく企画している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	77%	11%	・児童特別支援計画と協応して行っている。 ・児発管を中心に工夫している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	77%	22%	・適宜必要に応じてミーティングにて行われている。 ・支援開始前、また、前日に活動について打ち合わせしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	55%	33%	・毎日の記録を職員間で確認している。 ・特記事項、その他気になることについてはタイムリーに職員間で周知している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	・毎日記録し、振り返りながら支援にあたっている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	77%	22%	・他職種（保育士、児童指導員、言語聴覚士、管理栄養士等）との連携し、見直し等について、定期的な会議の場で協議している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66%	33%	・児発管を中心にご利用者の利用サービスに関わっている支援者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	77%	11%	・保育所等訪問（訪問員等）や研修会などで話し合っている。 ・児発管を中心に担当行政機関、保育所、他の間関連事業所と連携を図っている。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・該当者なし。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・該当者なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	66%	33%	・児発管を中心に各移行先への訪問や支援者会議を実施している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	77%	11%	・児発管を中心に就学先の学校への訪問や同校での支援者会議・担当者会議を実施し、本人の支援について情報共有を図っている。 ・就学に伴う保護者への意向面談等を実施している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	44%	44%	・コロナ禍の状況にもよるが、月に2回、他の事業所職員との勉強会を実施し、参加している。 ・外部の専門職より、知識や経験を得るための機会を設けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	22%	66%	・当センターの利用と保育園やこども園を併用していることはあるが、コロナ禍で他事業所との交流は少ない。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	44%	44%	・コロナ禍により、開催は少ないが、開催された場合は事業所内の担当者が出席し情報共有を図っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	・毎日の連絡ノートやご自宅への送迎の際に保護者と情報共有している。 ・連絡ノート、送付文書、送迎時に日々の活動の様子を伝えていますが、必要に応じて気になることがあれば電話やメールで適宜連絡を行っている。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	77%	22%	・担当者を中心に実施している。 ・コロナ禍ではあるが、当センターにてペアレントプログラムを実施し、参加者より好評得た。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	88%	11%	・契約時に丁寧に説明している。また、変更があった場合にも適宜お知らせしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	77%	11%	・児発管を中心に児童発達支援計画を用いて説明し、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	88%	11%	・相談があった際、根拠に基づいき、助言を行っている。 ・適宜、相談については受けつけており対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	55%	・月に1回、「ふれあい通園」を開催し、保護者参加型の行事を行っている。 ・父母の会の活動支援は実施していないが、保護者講座や個別面談は行っており、保護者同士が集まる場の機会は設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	・職員間で情報共有し、迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	・毎月、保護者宛にお知らせ文書を送付している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	・職員間で周知徹底しており、定期的チェックリストに確認を行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	・児童個人個人に合わせ、コミュニケーションの取り方を配慮している。 ・児童個人個人の特性を理解し、保護者との情報共有を図っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	44%	55%	・コロナ禍でもあり、感染防止のため十分に行っていない。 ・地域の広いホールを貸し切り、活動発表の場（どんぐり広場）を設けた。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	88%	11%	・各種マニュアルに沿って、毎月、想定訓練（火災、災害、防犯）訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	・月に一度実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	88%	11%	・アセスメントの際に確認し、支援統一事項として職員全員に周知・徹底している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	66%	22%	・アセスメントの際に保護者より聴き取りを行い、管理栄養士、保育士、児童指導員等多職種連携し対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	・月に一度リスクマネジメント委員会を開催し、ヒヤリハットの提出促進、検証、改善、事故防止策について協議し、施設内で周知徹底を図っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88%	11%	・月に一度、虐待防止委員会を開催し、支援に検討、検証し、防止策について適宜協議している。また、定期的にチェックリストを使用し、自己チェックしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	88%	11%	・虐待防止委員会の中で身体拘束についても協議し、定期的に解除に向けた取り組みについて検討している。 ・保護者の意向と解除に向けた取り組みについての会議をもって、必要（やむを得ない）とされた場合は身体拘束の同意書をうけて対応することになってい